

ロシア 東欧 経済速報

ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215~9
 ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月-1,500円 1ヶ年-18,000円]

1997年(平成9年)9月15日 No. 1068

目次

ロシアの戦闘機スキャンダルで垣間見えた深淵	1
統計速報	11
1997年1~6月のロシアの外国貿易/11	
データフラッシュ/12	
ホームページ拝見(3) スヴェルドロフスク州	12
キーパーソン	13
ロスヴォオルジェエの総裁交代と武器輸出体制の刷新/13	
CIS諸国通貨の最新為替レート	13

ロシアの戦闘機スキャンダルで垣間見えた深淵

はじめに

ロシアの軍需産業分野では、最近、大きな事件が3つ立て続けに生じた。すなわち、①スホイ・グループの覇権争い、②ミグ・グループの覇権争いおよび同グループを舞台とするスキャンダル、③武器輸出システムの変革とロスヴォオルジェエの社長交代(本号の「キーパーソン」のコーナー参照)、の3つである。

登場人物あるいは背後関係などは異なるが、どの事件も、最近激化している金融産業グループ間の勢力争い(あるいは、ロシア政界の大派閥間の争い)と何らかの関係を有していると思われる。

本稿では、その3つの事件のうち、スホイおよびミグ・グループに関連する事件を、その背後に見え隠れする対立構図に重点を置きながら紹介することとする。

1. スホイ・グループをめぐる戦い

(1) スホイ・グループについて

ロシアの航空機産業分野では、これまで、西側とはまったく異なる独自の生産形態が存在していた。すなわち、ロシアにおいては、西側の航空機会社でいえば設計・開発部に当たる「設計局」を核に、その周辺にいくつかの生産工場が集結することにより、ひとつのグループが形